



クロハトベラ [黒扉]

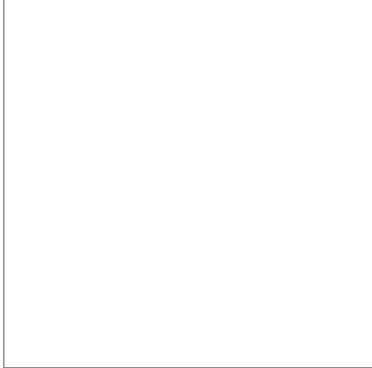
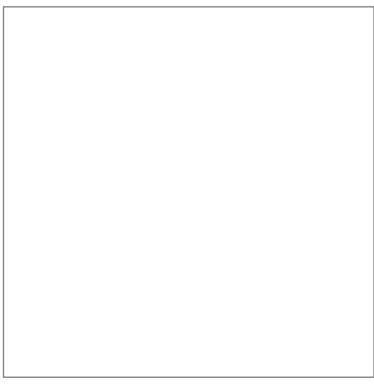
常緑／低木／木本植物／外来種・園芸品種



科名 トベラ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや遅い

樹名に「クロハ」がつくが、葉が黒いのではなく、茎が黒い。別名の「クロジクトベラ」の方が実態を表している。黒い枝に光沢のある葉がつき、キリリとした印象の低木。葉に斑が入る品種もあり、こちらは明るく爽やかな感じがする。ニュージーランド原産のトベラの仲間。



Memo

日本にあるトベラは1種だが、ニュージーランドやニューカレドニアなど南半球に250種もある。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
	花期				■									
	果実										■			
	紅葉													
	施肥	■ (痩せ地でなければ不要)												
	剪定	■												

好みの環境				
日当たり	陽	○	○	陰
土壌	乾	○	○	湿
寒さ	強	○		弱
暑さ	強	○		弱
潮風	強	○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○		○				

ポイント

萌芽力が弱いので剪定は軽めがよい。秋になると雌株では種子が朱色に成熟し、野鳥の好餌となる。整姿は実が落ちた後にしたい。日本のトベラに比べ、暑さや乾燥に強いが、移植を嫌うようである。

剪定

萌芽力が低く、生長も比較的遅い。添景や寄せ植えにできるが、葉は丸味があり刈り込みには向かない。徒長枝の切り戻しや枝拔をしてこんもりとした樹形にまとめる程度がよい。

病虫害

カイガラムシやトベラキジラミが発生すると、その排泄物に「すす病(カビの一種)」が誘発され葉の表面が煤で汚れたようになる。加害虫とカビ両方併せて駆除する。